

令和 3 年 6 月 19 日現在

機関番号：14403

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17K02642

研究課題名(和文) 日中戦争時期重慶における民族主義文壇と国民党系知識人の内陸都市間連携

研究課題名(英文) Cooperation between the inland cities of Sino-Japanese War of 1937-45 time, the nationalism literary world in Chongqing and the intellectual affiliated with Kuomintang

研究代表者

中野 知洋 (NAKANO, Tomohiro)

大阪教育大学・教育学部・准教授

研究者番号：70372638

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：研究者計6名が共同で、日中戦争時期中国の臨時首都である重慶における、国民政府主導の民族主義文芸政策と国民党系知識人の文化活動を総合的に研究した。日中戦争期の民族主義文壇の形成と成熟の過程を可視化することを目指し、首都重慶を補完する存在としての周辺の地方都市の役割に注目し、周辺都市との連携と情報伝達を視野に入れた、国民党系知識人の文化活動の動態について調査・研究を進めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

当初の目標を実現するためには、研究期間も研究者6名という規模も十分とは言えず、個々の研究の積み上げという形にとどまったとも言える。ただ、そんな中において、例えば重慶北郊の北碚区における梁実秋、老舍、呉miの活動調査によって、周辺都市からの重慶への文化人の流入と活動の様子が理解できるようになった。とくに呉mi旧居展示資料からは、日中戦争時期に国立長沙臨時大学を経て西南聯合大学に到る知識人の流れと、それとは別に呉miが戦後も西南師範学院に止まり、1960年に北碚に移住する経過を辿ったことが判明した。

研究成果の概要(英文)：Six researchers studied on a Nationalist China-led nationalism literary arts policy and the cultural activities of the Kuomintang system intellectual in Chongqing that was a capital of China at Sino-Japanese War of 1937-45 time. We pushed forward research about the change of the cultural activities of the Kuomintang system intellectual which aimed at visualizing the formation of the nationalism literary world of the Sino-Japanese War of 1937-45 period and a maturational process, and paid attention to the role of neighboring local cities as the existence to supplement capital Chongqing, and considered cooperation and the communication with the outskirts city.

研究分野：中国文学

キーワード：重慶 日中戦争 民族主義文学 国民政府

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究の前身プロジェクトである基盤研究(C)「日中戦争時期重慶における民族主義文壇の成熟と在重慶知識人ネットワーク」(課題番号:25370398、2013-2015)は、中国各地から重慶に集結した知識人の活動についての総合的な研究であり、戦時下における知識人の連帯の足跡を辿った。そこから見えてきたのは、日中戦争終結後北平(北京)上海等に帰還した知識人や国民党の台湾移転に随行する形で台湾や香港、東南アジア等に分散することになった国民党系の民族主義知識人の多くが、重慶に集まりそしてまた重慶から各地に分散して行ったという日中戦争時期全体を通じた動態である。

従来の研究では、個々の都市文学研究・都市文化研究という言葉は定点観測的な研究が蓄積され、一定の成果を挙げてきた。それら先行研究で不足していたと思われるのが、西南聯合大学設立に代表される知識人の内陸移住と都市間移動・都市間交流の調査、そしてその背後にある国民政府の指揮伝達の経路の解明である。

2. 研究の目的

首都重慶における民族主義文壇の形成と成熟の過程、そして国民党系知識人たちの周辺諸都市との往還と情報伝達の全体像を俯瞰的に研究することを目的としたものである。主に重慶に関係のある作家・文化人・漫画家(挿絵画家)を研究対象としてきた中堅の文学研究者計6名が共同で、重慶における民族主義文壇と抗日輿論の形成という点を中心に据えつつ、「日中戦争時期重慶における民族主義文壇と国民党系知識人の内陸都市間連携」という課題に取り組んだ。

3. 研究の方法

共同研究と個人研究の二本立てでの研究計画を遂行した。

1.海外(重慶・南昌・南京等)及び国内での共同資料調査を期間始めの2年間で2回、延べ10名により実施した。海外については重慶図書館、第二歴史档案馆等、国内は国立国会図書館関西館等、資料所蔵機関での調査を行った。

2.研究例会を4年間で8回開催した(1年目2回、2年目2回、3年目2回、4年目2回)

重慶及び周辺の諸都市との連携・往還という視点から、ゲストスピーカーに依頼して情報交換を図った。

4. 研究成果

2017年度は、2018年3月に上海図書館、および重慶図書館等の機関を中心に資料調査を実施した。調査の前半には、科研メンバーと、国民政府の臨時首都が置かれた日中戦争時期重慶の遺構を調査した。重慶北郊の北碚区では、梁実秋紀念館(雅舍)四世同堂紀念館(老舍旧居)吳宓旧居陳列室(吳宓旧居)等を見学した。とくに吳宓旧居は写真パネル等の展示資料が豊富で、日中戦争時期の吳宓が国立長沙臨時大学から西南聯合大学に到り、戦後も西南師範学院に止まり、1960年に北碚に移住するその経過と、それぞれの時期に刊行された業績とを時系列に沿って展示したものである。

資料調査の成果としては、例えば研究代表者が重慶図書館で収集した、王平陵『女優之死』(現実出版社、1943)、『新亭淚』(青年軍出版社、1946)等、民族主義部作品が挙げられる。また同じ作者の『小飛行師』(建国書店、児童文芸叢書、1945)、『怎樣讀歷史』(文風書局、新少年文庫、1944)という児童文学作品を調査することができた。これは、これまで主に歴史小説、演劇(戯曲)というジャンルに特色があると見られた王の民族主義文学が、児童文学を通じた教育という方面に展開したことを示す資料である。さらに上海図書館で収集した王の『婦女夜』(『女青年月刊』第2巻第1期、1945)等は、王平陵文学におけるロマン主義的性格の究明という本研究の課題を補強する資料である。

2018年度は、6月30日、近畿大学において、研究例会を開催した。中野知洋が、「王平陵『女優之死』とモダニズム」というタイトルで、王の民族小説に認められるモダニズム的な性格について、研究発表を行った。またあわせて、児童向け作品『小飛行師』が民族小説「母与子」をもとにしたものであることなどを報告した。他のメンバーの報告は、以下の通りである。中村みどり「齊魯大学と老舍」は、山東省済南時代の老舍の活動について、齊藤大紀「沈從文と胡也頻」は、1920年代を中心に両作家の作品の類似を論じたものである。杉村安幾子「重慶時代の徐Xuと無名氏」は重慶時代の徐訏と無名氏の活動状況について、また中野徹は「国立青島大学の学潮」というタイトルで、1930年代国立青島大学の学生運動問題を報告した。また高橋俊「中国の地域文学研究の現在」は、中国における地域文学研究には、「その都市に固有の特徴を文学に読み込む」という特徴があることを批判的に論じた。

2019年3月5日から3月9日まで、科研メンバーによる現地実地調査を実施した。調査地は、以下の通りである。

3月6日 育才学校旧址・合川陶行知先生紀念館

重慶郊外・合川にある育才学校旧址は、陶行知が1939年に戦災児童のために開校した学校で、現在もほぼ当時のままの形で保存されている。併設の紀念館で配布された資料を収集した。

3月7日 周公館・桂園等革命時期共産党関係施設、中国民主党派歴史陳列館、重慶中国三峡博物館

3月8日 新華日報営業部旧址、重慶大韓民国臨時政府旧址

2019年年度は、**6月29日**に、近畿大学において**2019**年度研究例会を実施した。研究発表**1**名、また**2**人の講師を招いて講演を聴講した。その詳細は以下の通りである。

研究発表：高尾有紀(奈良女子大学大学院博士課程)「沈従文「三三」における語りと「小爺」重慶に近い湖南省西部生まれの作家・沈従文の短篇小説における語りと、登場人物の視点について論じた。

講演：奥野行伸(近畿大学等非常勤講師)「雑誌『希望』について」重慶北郊の文教地区における路翎等による雑誌の刊行に関する調査報告である。今泉秀人(大阪大学)「郷下人と原郷人 沈従文・鍾理和比較研究」沈従文と台湾作家との比較研究の成果を報告したものである。

2020年**1**月に、重慶及び近隣の地域を調査する計画で準備を進めたが、新型肺炎により計画はすべて中止した。

2019年度末に急速に拡大した新型コロナウイルス感染症による渡航制限の影響を受けて、**2020**年**1**月に計画していた武漢への研究調査が中止となった。再起を期して期間を**1**年したが、渡航が解禁される見込みが立たず、**2020**年度をもって研究期間を満了することとした。

Zoomによるオンライン研究例会は**2**回開催した。**1**回目は**8月31日**、**2**回目は**3月29日**に、青島科研との合同で、最近の研究課題を紹介し、質疑応答と情報交換を行った。**2**回目の例会では、来年度の活動方針を決定し、今後の研究計画を説明した。

3年間の研究成果として、科研メンバー全員が参加する中国モダニズム研究会編『夜の華 中国モダニズム研究論集』(中国文庫、**2021**年**3**月)から活動状況を見ることができる。齊藤大紀は、天逝した作家・胡也頻の自慰行為を描いた作品を題材に、自慰行為が映し出す五四時期の自由と恋愛、結婚観という近代の人間模様を検討した。杉村安幾子は、**1940**年代、徐訏と並んでラブストーリーを得意とする流行作家であった無名氏の「メロドラマ」の作法を論じた。高橋俊は、いわゆる「人文系不要」論争を中国現代文学研究に敷衍した研究を行った。中野徹は、**1932**年にわずか**2**年間という短い歴史を閉じた国立青島大学に起きた、学生運動をトレースした。中村みどりは、劇作家の洪深の青島との関わりを丹念に跡付けた。また中野知洋は、民族主義文壇の中心的な作家であった王平陵の日中戦争中の重慶で発表した「女優之死」を分析した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計19件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 第55号
2. 論文標題 中村みどり「戦時における日中研究者のつながり 松枝茂夫宛陶晶孫関連書簡二通について」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『文化論集』55号	6. 最初と最後の頁 245-258
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 第865号
2. 論文標題 「書評 範麗雅著『中国芸術というユートピア ロンドン国際展からアメリカの林語堂へ』（名古屋大学出版会、2018年）」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『中国研究月報』	6. 最初と最後の頁 27-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 第26号
2. 論文標題 「書評 高田幸男編著『戦前期アジア留学生と明治大学』（東方書店、2019年）第4章「胡風の日本留学体験」」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『大学史紀要』	6. 最初と最後の頁 27-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中里見敬・中村みどり	4. 巻 第38号
2. 論文標題 「留学史研究の現状について」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『霞山日本同窓会NEWS LETTER』	6. 最初と最後の頁 6-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 第24号
2. 論文標題 「徐Xu「歌楽山的笑容」試論 “鬼故事(ゴースト・ストーリー)” に仮託されたもの」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『言語文化論叢』(金沢大学国際基幹教育院外国語教育系紀要)	6. 最初と最後の頁 103-123
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 第23号
2. 論文標題 愛よりも情よりも 楊振声「阿蘭の母親」から「済南城上」へ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『言語文化論叢』(金沢大学国際基幹教育院外国語教育系紀要)	6. 最初と最後の頁 129-148
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中野徹	4. 巻 第100号
2. 論文標題 国と省のはざままで 国立青島大学と楊振声	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 野草	6. 最初と最後の頁 56-84
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 第100号
2. 論文標題 深セン文学に読む物語 - 文学を都市から救い出す? -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 野草	6. 最初と最後の頁 85-107
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 第49号
2. 論文標題 文学研究にとって 場 とはなにか - 中国の地域文学研究について -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高知大国文	6. 最初と最後の頁 51-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 第19号
2. 論文標題 労働と成長のユートピア 深センにおける「物語」をめぐって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際社会文化研究	6. 最初と最後の頁 115-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野知洋	4. 巻 第13号
2. 論文標題 王平陵『小飛行師』をめぐると考察 母と子の物語、父と子の物語	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本アジア言語文化研究	6. 最初と最後の頁 87-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤大紀	4. 巻 第1輯
2. 論文標題 日本有関沈従文的紹介・研究論文目録	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 沈従文研究	6. 最初と最後の頁 348-405
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 第102号
2. 論文標題 日本占領下上海における陶晶孫の言説 大東亜文学者大会と「老作家」・「狗」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 野草	6. 最初と最後の頁 60-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 第33号
2. 論文標題 大橋毅彦『昭和文学の上海体験』	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国 社会と文化	6. 最初と最後の頁 210 220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 第196号
2. 論文標題 陶晶孫「腕時計」 翻訳と解説	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 人文研究	6. 最初と最後の頁 59-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 第22号
2. 論文標題 徐Xu「春」試論 後景化されつつそこにある戦争	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 言語文化論叢	6. 最初と最後の頁 79-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 第48号
2. 論文標題 中国映画に見る「家族」 『唐山大地震』を中心に -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 高知大國文	6. 最初と最後の頁 85-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 単行本
2. 論文標題 新文学と商業メディアの交錯 『良友』画報と鄭伯奇および現代派の作家たち	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『上海モダン』 『良友』画報の世界』	6. 最初と最後の頁 83-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤大紀	4. 巻 第40巻第4期 (総209期)
2. 論文標題 被消費的感傷：沈從文与于Geng虞	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 長江大学学报 (社会科学版)	6. 最初と最後の頁 59-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計15件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 「恋愛・都市・科学・戦争 陶晶孫の文学作品における少女表象」
3. 学会等名 中国空想メディア研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中野知洋
2. 発表標題 「日中戦争時期重慶における民族主義小説とモダニズム」
3. 学会等名 第24回日本・アジア言語文化学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 「書評 高田幸男編著『戦前期アジア留学生と明治大学』（東方書店、2019年）」
3. 学会等名 シンポジウム「アジア留学生史研究の成果と課題」（明治大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村みどり・中里見敬
2. 発表標題 留学史研究の現状について
3. 学会等名 交換留学事業開始30周年シンポジウム「日本と中国の語学教育の現状と研究」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中野知洋
2. 発表標題 王平陵『女優之死』とモダニズム
3. 学会等名 基盤研究C（18K00358/17K02642合同）2018年度第1回研究例会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 孫安石・菊池敏夫・中村みどり編『上海モダン 』『良友』画報の世界』
3. 学会等名 中国文芸研究会2018年夏合宿
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 都市上海与創造社の作家
3. 学会等名 上海城市研究新動向 ” 學術検討会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 青島と中国人の文化活動 演劇・映画人洪深と青島
3. 学会等名 戦前の青島と日本をめぐる円卓会議
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉村安幾子
2. 発表標題 青島：近代文化空間としての海浜リゾート都市
3. 学会等名 第256回中国語中国文学談話会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 關於日本的“現代中国留学生文学”研究
3. 学会等名 「東亜教育交流視野下的中日 留学生史研究」国際學術検討会 大連・遼寧師範大学
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 洪深と青島
3. 学会等名 科研基盤研究(C)「近代都市・青島における知識人の交流と文化空間の創成」研究例会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 洪深と映画脚本『桃後桃花』について
3. 学会等名 中国文芸研究会2017年7月例会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 日本表象和民族意識 民国時期的暢銷小説《留東外史》
3. 学会等名 「留学生与中外文化」国際學術研討会 天津・南開大学
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 浪漫主義精神的變遷 陶晶孫の跨國身fen與文學空間
3. 学会等名 第十二屆東亞學者現代中文文學國際學術研討會 名古屋大学
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 創造社による「日本」に関する記述 郁達夫「中途」(「帰航」)と反日ジャポニズム小説
3. 学会等名 中国人留学生史研究会拡大例会「近代日中関係と留学生文学」 神奈川大学
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 神奈川大学人文学研究所・熊谷 謙介・中村みどり	4. 発行年 2020年
2. 出版社 青弓社	5. 総ページ数 288
3. 書名 『男性性を可視化する』	

1. 著者名 中国モダニズム研究会(杉村安幾子、中野知洋、中野徹)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 関西学院大学出版会	5. 総ページ数 230
3. 書名 中華生活文化誌	

1. 著者名 梁鴻、鈴木将久、河村昌子、杉村安幾子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 みすず書房	5. 総ページ数 312
3. 書名 中国はここにある	

1. 著者名 大東和重、神谷まり子、城山拓也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 700
3. 書名 中国現代文学傑作セレクション	

1. 著者名 中村みどり	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 360
3. 書名 中国人留学生と「国家」・「愛国」・「近代」	

1. 著者名 大東和重、神谷まり子、城山拓也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 700
3. 書名 中国現代文学傑作セレクション	

1. 著者名 孫安石、菊池敏夫、中村みどり	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 504
3. 書名 上海モダン 『良友』画報の世界	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	高橋 俊 (TAKAHASHI Shun) (10380297)	高知大学・教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門・教授 (16401)	
研究分担者	中野 徹 (NAKANO Toru) (20610512)	近畿大学・文芸学部・准教授 (34419)	
研究分担者	中村 みどり (NAKAMURA Midori) (30434351)	早稲田大学・商学学術院・教授 (32689)	
研究分担者	杉村 安幾子 (SUGIMURA Akiko) (50334793)	日本女子大学・文学部・教授 (13301)	
研究分担者	齊藤 大紀 (SAITO Hiroki) (70361938)	富山大学・学術研究部人文科学系・教授 (13201)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------